

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 一般社団法人 学童クラブこうし

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別や各種ハラスメントの禁止について倫理規範・運営指針・就業規則に定めている。 ・ハラスメントに関してクラブミーティングなどで、支援員等への啓発をはかっている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3				16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生に関して改善提案が有ればすぐに手を打ち、内容は従業員に共有している。 ・やる気(心の健康)を確保するために、毎年アンケート(勤務意向調査)を実施している。また、毎年全員面談(総主任と事務局が支援員等の話を聞く)を実施し、改善に務めている。			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・支援員等(常勤職員・非常勤職員・アルバイト)の公正な待遇を行っている。					5.5					8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスに力を入れており、家庭の予定がある場合は協力し合い、休みが取れる環境づくりに努めている。有休休暇取得100%を目指す環境を整えている。 ・変形労働時間制を採用。小学校長期休暇期間に一日の勤務時間が長くなる分、平日に勤務時間の短い日を設定し、勤務時間の調整をしている。			3		5.5					8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・放課後児童認定資格研修(準国家資格)の受講の機会がある。 ・合志市内の学童クラブと一緒に、外部講師を招いた研修の企画・運営・受講をする体制を作っている。必要経費は合志市より、補助がある。 ・法人内研修として、定期的に自己研鑽の研修を企画・実施出来る機会を作っている。必要経費は必要に応じて法人が負担する。				4	5.5					8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断は経費補助があり、毎年受診するよう、予約・実施の登録を管理している。 ・インフルエンザ予防接種補助がある。			3							8								17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇は無い。 ・従業員50名のうち、女性48名、高齢者8名となっている。				4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・クラブ室内では、AIセンサーによる検温、飛沫防止パネルの設置を行っている。 ・Web会議やWeb研修の活用など実施している。			3							8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・Amano勤怠システム、MicrosoftOffice365の導入により、業務改革に取り組んでいる。 ・各クラブへのPC機器配付などIT投資により業務効率の改善に取り組んでいる。 ・公式LINE導入により保護者さんとのコミュニケーションに役立てている。(出欠、悩み相談など)										8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4					8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 一般社団法人 学童クラブこうし

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者と契約し、処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社のエネルギー使用量を把握し、削減に努めている。 ・省電力型エアコン導入によりクラブ室内の節電に取り組んでいる。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に努めている。 ・不要な電気は消すよう「張り紙」をして節電に努めている。 ・クラブ室に天井扇風機を設置し、室内空気を循環させることで、夏のクーラー抑制と冬の暖房効率の向上に役立っている。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・学童クラブ運営及び支援員等の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・メダカ、亀、カブトムシの飼育を子ども達と一緒にし、生物多様性の保全について子ども達に伝えている。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙やエコ商品の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・日常的で身近な廃材を元にリサイクル工作を行い、子ども達と一緒に、物を大切に作る創意工夫を体験している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」を実施している。 ※クラブの各蛇口に節水器具・ロングレバーハンドルを使用		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入に努めている ・再生用紙やエコ商品の利用を推進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4						12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

